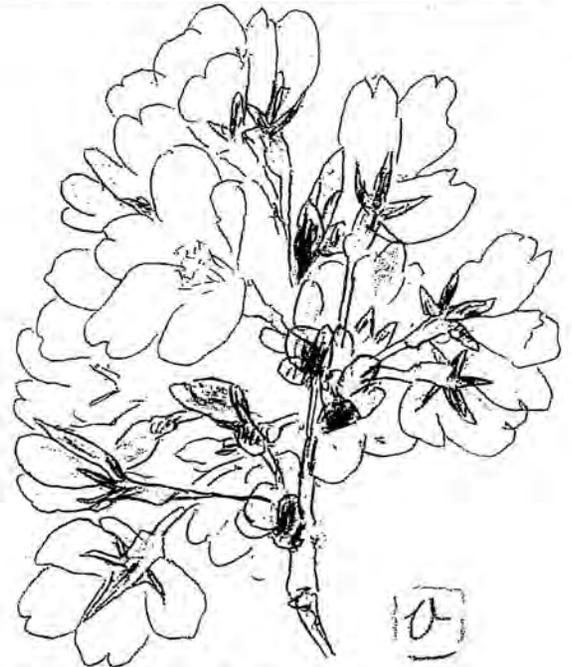


奈良・人と自然の会

3月例会「野草料理と竹笛」

吉村さつき



3月17日（水）天気晴れ 参加者男6名 女8名
飛鳥駅よりバスで福祉センター迄行きかめバスに乗り換える
運転手さんいわく“このバスは美人しか乗れません”

メンバーは、皆合格で一安心

ヘアピンカーブ有りのくねくね道

民家の間の狭い道もなんのそのバスは走る。

棚田が美しく菜の花や、梅の花が見事に咲いている。

約20分が入谷へ、歩いて1分ほどの所にある水谷草木研究所の看板がかかった田舎屋に着く。

早速に本日の料理の材料を摘みに出かける。

よもぎ、野蒜、やぶ椿、あざみ、ふきのとう、はこべ、つくし、かんぞう、ゆきのした、にわとこ、白花タンポポ、

きゅうり草、からすのえんどう、……………こんなものが食べられるのかと

思う。

皆夢中になって摘み草をする。

弓場さんと土地の方の話も弾む。

30分予定より遅れて戻る。

おくどさんのあるクラシック台所でお料理開始。

エプロン姿きりりとした豊島さんを先頭につくしのはかまとり、野蒜の下ごしらえと準備は進む。

NHKのお料理教室のように♪♪♪タンタラ タラタラ タンタンタンーと野草を茹

でたり、和えたり、天婦羅と

変身していく

男性群は、チョイトお先にのどを潤す。

女性群がお料理、男性群が配膳をする。

どれも美味しく話も、食も進む。

ここでクイズ“山の神の好物は”皆めいめいに答えるもはずれ

答えは“おこぜ”神さまが嫉妬しないようにとのこと、成る程と納得する

お腹が一杯になったところで樋口さんの指導の下竹笛を作る。なかなか旨く音が出ない。

皆童心に帰って一生懸命、あちらこちらでピーピーピーまるで捕り物のようである。

何とか作品も出来大満足

ホーホケッキョの鳴き声に送られ家路に着く。大変楽しい一日でした。

ご準備くださった皆様ありがとうございました。

第一回奈良市国有林における間伐実施報告



< 3月12日(金) 曇り*AM10.30~PM3.00 > 阿部 和生

奈良森林管理事務所の許可を得た「忍辱山国有林・1.5ヘクタール」の間伐作業に参加した。参加者8名と管理事務所の方3名で地図に示された場所をぐるりと一回りする。あらかじめ敷地境界に目印をつけていただいているが、やはりご一緒にこそ確認できるもの、山の境界は、住宅地のように誰が見てもわかる区切りとは行かないことを実感する。道路から少し入ったところに平坦でこれからのベースキャンプに適したところを見つける。これから一年大切な場所になるだろう。緩やかな斜面 作業のしやすいところ やや急峻なところ 両手両足に気をみなぎらせ上る場所 など現場に入り目印を確認し、木を見上げ下草を眺め、ようやく一周しその広さを体感する。山は眺めているだけでは見せない顔を私たちに見せ招いてくれる。木々の下に立ちこずえに目をやればすりと伸びたその高さに驚かされ 年輪を刻んだその幹は「もっとお日様をくれ」と叫ぶ 足もとのショウジョウバカマに春を告げられ ヤマツツジは新芽を膨らませている。いつしか森の靈気(?) フィトンチッドを胸に吸い込んでいるのであろう軽やかな気分になっている。

全員が集まり用具を身につけヘルメットをかぶるともう一人前の作業員に変身 オットそれからが大切 管理局の方々から 安全作業、用具の使い方、森林の特性 重要性などにつき資料とともにレクチャーを受け 今一度現場に降り立ち ロープの使い方や倒伐の実演を見せていただく。さらに

「健康な森・美しい森にしてください」と言う言葉をしっかりと受け止めた。

昼食 この言葉について話し【光を入れ 針広混交林を目指す】 とりあえずは間伐すずめることにする。実演のように上手くスムーズにはかどらないが 手順を踏み協力し合い 木を伐り 枝を払い 玉切りをし 林床を美しくし作業を進める。10~15メートルの木はドスンと量感あふれる倒れ方をする。懸かり木(隣の木にひっかかること)すればロープの出番 力をあわせてしっかり木をねじ伏せる。汗とともに心身ともに充実感にあふれ 童心に帰りすがすがしい。檜の切りくずがなんともいえない芳香を放つ。切り倒した木に ゴメンな とささやきたくなる。ぽっかりと空間が出来ると林床が明るく変わるのがしっかりと見られる。時間を忘れてしまう。

「私も一本伐る」この日 紅一点 の大寺さんが叫んで新調ののこぎりで檜に挑む。手順どおり誰の手助けも借りず 受け口を切り 追い口を作り伐採する。これを区切りにこの日の作業を終了した。斜面を登り道路から現場を眺めると しっかりと作業の後が見える。明るくなっている。これから一年 大勢の仲間たちでこの森をしっかりと手入れをしてあげるからな! また来るからな! とわかれを告げた。

心地よい疲労 あふれる満足感 協力し合う楽しさ いっぱいのお土産をもらった一日だった。

月に2回の作業日設定です。参加していただくことからはじめませんか! きっと満足した一日をプレゼントされることでしょう。この国有林の間伐作業 社会貢献は、寺田正博様の尽力によりスタートしました。多数のかたがたの参加 ご出席をお待ちしています。



棚田賛歌

川井 秀夫

昨年七月、シニア自然大学 自然保護部から当会に棚田再生作業の協力要請があり、大阪 里山クラブとの協働作業が始まる。

生駒市 西畑町。有名な暗峠から旧奈良街道、現 国道308号線沿ひに広がる16haが戦場となる。「棚田クラブ」とサークルネームを冠して、週に一回、草刈り、竹の間伐、畑作から稲作まで、雑木林でシイタケの植菌、遊歩道の整備と、実作と景観の復元に汗を流す。代表幹事の出口さん、補佐役の阿部さん、大石さん、事務局の大寺さんを始め、当会のパワーが大きな力になって、四季の移り変わりと共に、景観に美しさを増し、感動の日々が続いている。

少し日記風に活動状況を記すと

7月某日

娘が顔を出す。雑草に覆われた生駒石の石積が草刈りの成果で、見事な姿を現す。

8月某日

竹の間伐が続く、藪が竹庭の様に蘇る。草や灌木の焼却も大変、炎天下で脱水状態寸前。自戒と反省しきり。

9月某日

蕎麦の花、秋桜が風に揺れる。稲穂が実をつけて稔の秋が近い。草刈り続く。自動草払機が威力を発揮。次々と休耕の段々畑の曲線が鮮やかな姿を見せる。

11月某日

地元の方々と収穫祭。銘酒に大トラ、小トラ続出。コミュニケーション高まる。

12月某日

しめ縄作り実習。蕎麦の脱穀。蕎麦打ちの実習。自前の蕎麦に舌鼓。

1月某日

寒風の中、神田川周辺の竹笹伐採。小さな溪谷美？。

3月某日

春雪降る。一面の銀世界。春間近。これから、どんな彩りを見せてくれるか楽しみ。

文化庁が里山・棚田・寺社仏閣の構造物等、日本の自然遺産、文化遺産の保護に向けて、今国会で法制化すると言う。曾て司馬遼太郎が「棚田は万里の長城に勝る日本の遺産である」と言っていた。

ここには、自然の万物が埋まっている。地元の方々の理解を得て、我々の自然観が生かされ、失われた棚田に蘇生の夢を追い、雑木林に自由空間を求め、自然の賛歌が聞こえる豊かな森も夢見たいと願っている。

今年も田圃づくり、旬の畑作、遊歩道整備に汗を流し、生駒草刈り十字軍として過疎化の進む、一町一村の尖兵になれればと思う。自由参加です。気の向いた時に、現場へ気軽に足を運んで下さい。

行基菩薩と〈日本図〉

寺田正博

近鉄奈良駅前の噴水の中に立っていらっしやる行基菩薩像

行基菩薩668(天智7)~749(天平勝宝元) 渡来系氏族で、河内国(大阪府)大鳥郡に生まれる。奈良前半期の高僧。仏教の民間布教と社会事業に尽力し、平城京造営に集まった難民を“私度僧”(官の許可なく私的に得度した尼僧)として救い、和泉に移ってからは、土師氏の協力を得て池溝を修築し、また川の渡船場などに無料宿泊所である〈布施屋〉を含む仏教的施設である〈院〉を造った。初め“僧尼令”に違反するとして弾圧されたが、後に〈東大寺大仏〉の建立に協力したとして大僧正に任ぜられた。

『溪嵐拾葉集』には『行基菩薩記』(未発見)の記述として、天照太神、行基菩薩と一体のこと。聖武天皇の御代に、東山より紫色の沙門(男性の修業者)来たりて、聖武天皇に示して云く、金銅十六丈の盧舎那仏を造立すべきなりと云々。時に天皇夢より覚む。そして行基菩薩を勅使として太神宮へ参詣せしむ。これによれば、大仏が鎮座する大伽藍をもつ東大寺は、天照太神の冥応(目に見えぬ神仏の感応)によって建立された寺とされている。

行基菩薩の伝記は『日本霊異記』『続日本紀』などにみえるものが古く、それらは聖徳太子に次ぐ日本仏教創聖成の大功労者と位置付け、“文殊”の化身とされている。それだけに行基にまつわる説話も多数形成され、中古・中世の諸書に収録されて仏教文学上最も話題に富む人物の一人となっている。

表記の〈日本図〉ですが、近代以前の日本地図といえば、まず思い浮べるのは伊能忠敬(1745~1818)と彼が製作した伊能図(「大日本沿海輿地全図」)でしょう。

しかし、中世以前にもすばらしい〈日本図〉がありました。それが行基式《日本図》です。行基作成と伝えられている中世以前の

日本図の総称。しかし行基が地図を作ったことを示す確かな資料はない。しかし、室町時代以降に成立の

『行基大菩薩行状記』には行基が「三国の差図をつくりて、我朝にひろめ給へり」とある。そしてそれには、我が国をもって、独古の形と云えり。行基菩薩、日本を遍歴して、国境を定め、田畑を開きたまふ。その時、感見の様片を図し給へり。その形独古の形なりと云々。

独古とは、図の様な形で、密教で、煩惱を破碎し菩提心を表す金属製の法具。細長く手に握れるほどの大きさ。

つまり、行基の描いた〈日本図〉が独古の〈かたち〉をしていたとする中世仏教特有の密教的な思考に基づく

イメージとみることができる。これらには諸説があり疑問も多い。

参考引用文献 「岩波 仏教辞典」 「行基」井上薫 「日本霊異記」

「龍の棲む日本」黒田日出男

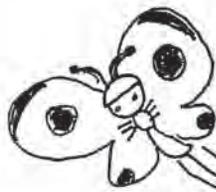




地域情報



- ☆ 3/8 ウバユリの発芽 100箇所ほど・・・ 斑鳩三室山・・・(勝田)
- ☆ 3/16 初めてツバメを見た・・・ 斑鳩・・・(勝田)
- ☆ 3/20 36種類の鳥を見る ハチジョウツグミも見る・・・ 平城宮跡・・・(勝田)
- ☆ 1月より3月26日までのほとんど毎日イカルを10羽～70羽ぐらい確認・・・ 斑鳩竜田川周辺・・・(勝田)



行事案内



ネイチャーなら 奈良・人と自然の会

第7回 東海自然歩道・自然観察会

春うらら、やわらかな陽射しをあびて日本最古の大神神社から三輪山沿いを天理に向けて神話のストリート「山の辺の道」Ⅲを辿ります。満開の桜のトンネルをくぐり、大和三山を遠目に眺めて春の自然観察を行います。気楽にご参加ください。

- 〈コース名〉 ⑦ 山の辺の道Ⅲ [16 km]
 〈日時〉 4月6日(火) 9時10分 集合
 〈集合場所〉 近鉄桜井駅：北出口 (北口バス②乗場：天理行バス) ^{9:20発}
- 3/18 訂正
- 西大寺 [橿原神宮前行急行] 8:20...八木8:42
 - 近鉄ナンバ [東生駒行] 8:16...鶴橋8:23乗換 [宇治山田行快急] 8:27発...八木8:57...桜井9:02着
- 〈行程〉 三輪明神参道口...大神神社...橿原神社...石上神宮...JR・近鉄天理駅
 〈参加費〉 資料代等として4月から9月までの半期分：@200円を申し受けいたします。
 〈担当〉 大寺道代 寺田正博(弓場厚次

★ 早稲便 -- 鶴橋 8:18 (宇治山田行快急) 八木 8:42 -- 桜井 8:57着



ネイチャーなら 奈良・人と自然の会

[4月度例会] 宮滝から花の吉野山

吉野・宮滝から「象の小川」に沿う吉野宮滝万葉の道を辿って上千本は吉野水分神社。春爛漫、のどかな万葉の世界と“一目千本”と言われる吉野の桜を観に行きませんか。気楽にご参加ください。

- 〈日時〉 : 4月10日(土) 9時50分集合
 〈集合場所〉 : 近鉄 大和上市駅 バス乗場
- 西大寺 [橿原神宮前行急行] 8:24...橿原神宮前8:56
 - 近鉄阿部野橋 [吉野行急行] 8:20...橿原神宮前8:59...大和上市9:48
- 〈行程〉 : 宮滝...桜木神社...吉野水分神社...蔵王堂...近鉄吉野駅
 〈担当〉 弓場厚次

【森林間伐作業】

森林の若葉が美しい季節になってきました、爽やかな森の中で汗を流しませんか。

- 〔場 所〕 奈良市 忍辱山国有林「住民ボランティアの森」(約1.5㌔)
- 〔日 時〕 第3回 4月14日(水) 11時20分
第4回 4月29日(祝) 11時20分
- 〔集合場所〕 円成寺 駐車場 (円成寺の門の向かい側)
バス停 「円成寺口」と「忍辱山円成寺」の中間位置
- 〔間伐場所〕 東海自然歩道を奈良「峠の茶屋」方向へ約10分・東海自然歩道沿い
歩道左側 国有林
- 〔持ち物〕 鋸(生木剪定用)・ヘルメット(防災用)・手袋・スバツツ、長靴。
鋸、ヘルメットは当会にて多少は用意しております。
弁当、飲み物。

この森林間伐作業は当会が奈良森林管理事務所に申請をして、当会が単独で3月より始めた行事です。

作業に参加されなくても視察だけでも結構です。是非お出かけ下さい。

- 〔交 通〕 奈良交通バス 柳生行き
- | | JR奈良駅 | 近鉄奈良駅④乗り場 | 円成寺口 | 忍辱山円成寺 |
|--|-------|-----------|-------|--------|
| | 8:26 | 8:29 | 9:01 | 9:02 |
| | 10:40 | 10:43 | 11:15 | 11:16 |

4月22日~6月27日 臨時バス(近鉄奈良駅):土・日・祝 9:03 9:43 10:13

集合時間は11時20分ですが、9時30分頃にはスタッフは駐車場に居ます

早く来られる方はご参加下さい ☆ 4月12日~5月28日の月曜~金曜 瑞便 9:43

【周辺情況】

- 〔円成寺〕 庭園(国名勝) 楼門(国重文) 本堂(国重文) 厨子(国重文)
大日如来坐像(国宝) 白山堂・春日堂(国宝) 阿弥陀如来坐像(重文)

- 〔湿 地〕 湧水による小規模な湿地が点在し、氷期の遺存植物とされるサギスゲ
を筆頭に、貧栄養の湿地や水域に特徴的な植物がみられる。

(レッドデータブック近畿2001)

終了は3時頃の予定ですが、各自それぞれの都合で結構です。

- 〔担 当〕 弓場厚次 阿部和生 寺田正博



ネイチャーなら
奈良・人と自然の会

5月例会 県立月ヶ瀬神野山自然公園

ツツジの名所【神野山】と天然記念物【鍋倉溪】。

【神野山】は標高618m、ゆるやかなスロープを描いた円錐形の大和高原における
秀麗な山で、ツツジの名所として知られているほか、天然記念物にも指定され、延長
500mにわたって大小の黒い岩石が累々と重なりあい、火山の溶岩の流れを思わせる
【鍋倉溪】、【神野寺】等がすばらしく、5月上旬には全山ツツジで色づきみごとな
景観が感動させてくれる。

- 〈日 時〉 5月10日(月) 9時集合
〈集合場所〉 近鉄奈良駅 行基菩薩噴水前
〈担 当〉 寺田正博



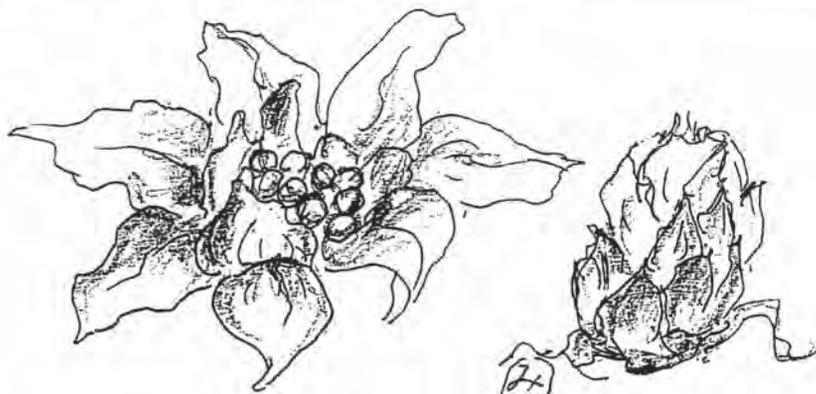
ネイチャー なら
奈良・人と自然の会
第8回 東海自然歩道・自然観察会

「山の辺の道」Ⅲに引き続き、石神神宮より両側がレンゲ草でピンク色に染まるのどかな田園地帯を辿り、高樋の虚空蔵さん・弘仁寺から円照寺に向います。

〈コース名〉 ⑧ 山の辺の道 Ⅱ [7km]
〈日 時〉 5月16日(日) 9時30分 集合
〈集合場所〉 近鉄天理駅 : 改札口

近鉄ナンバ〔奈良行快速〕8:34発…鶴橋8:40…西大寺9:02着・乗換〔天理行急行〕9:10発…平端9:21…天理9:27着

〈行 程〉 近鉄天理駅…石上神宮…白川溜池…弘仁寺…円照寺…JR帯解駅
〈参加費〉 資料代として4月から9月までの半期分: @200円を申し受けいたします。
〈担 当〉 大石門三 寺田正博 弓場厚次



【いこま棚田クラブ】

いこま棚田クラブ
生駒棚田通信

いこまの棚田は春いっぱい!



- ・棚田に春がやって来ました。オオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、が咲きフキノトウを摘みました。
 - ・間伐した竹を高山地区“茶せんの里”を真似て円錐状に組み立てました。
 - ・休耕田になっている棚田(0.5反)を地元の方と田圃復元に挑戦しています。
 - ・田圃の周辺を間伐した竹で柵を作ろう。(イノシシ対策)
 - ・景観整備は棚田を流れる神田川の兩岸の草を刈って“春の小川”が現れてきました。
 - ・いこま棚田クラブのシンボル手ぬぐいが出来ました。(カンパのつもりで買ってください。1本 500円)
- ◆4月活動日 4/4(日)、4/12(月)、4/18(日)、4/26(月)
◆5月活動日 5/2(日)、5/10(月)、5/16(日)、5/24(月)、5/30(日)
(注意: 5月より集合時間をセブンイレブン前 9:00とします。)

- ◆ 集合場所 近鉄生駒駅下車(鶴橋駅より快速15分)
南口側ケーブル駅西隣りセブンイレブン前 9時30分
(現地まで車で移動(15分))
- ◆ 持ち物 弁当、飲み物、観察用品、軍手、長靴、草刈り鎌(有る人)

お願い: 生駒駅からは車で移動します。参加者は事前にtelまたはfaxで下記までご連絡願います。

事務局 大寺道代(

「アースデー'04 I N なら」 応援スタッフ募集！！

日時：4月18日（日） 9：30～15：00

集合場所：県立ファミリー公園（近鉄樫原線）

演目：ヨシ笛・モックくん・蟬丸くん

持ち物：飲み物・雨具。 弁当は不要です。

担当・連絡先：樋口善雄

2004年3月度定例幹事会

1. 日時：3月5日（金） 18：00～21：00
2. 場所：奈良県文化会館
3. 司会：豊島 書記：大寺
4. 出席者：川井、小山、寺田、弓場、勝田、大石、阿部、豊島、大寺（10名）
5. 議事：*樋口*

【報告事項】

- ① 会員動向：93名 会計報告 75,544円
- ② 2月度例会報告：奈良公園野鳥観察会 参加者 27名
- ③ 東海自然歩道自然観察会第5回「鳥見山公園」参加者 20名

【承認事項】

- ① 奈良市忍辱山国有林間伐作業
 - ・ 3月1日より入林の許可承認書受け取り（川井会長）
 - ・ 入山は都度届出が必要（実施日3月12日（金） 3月27日（土））担当：奈良森林管理事務所 青木洋治氏

【討議事項】

- ① 新年度体制について
総会の日程：5月23日（日）午後13：00～ 会場未定
役員改選：行事増加に伴い役員を増員する
新任役員候補：候補者選考及び交渉開始
- ② アースデー参画について（3月会報にて応援スタッフ募集中）
日時：4月18日（日）9：30～15：00
場所：奈良県浄化センター
- ③ ・生駒柵田クラブ報告：2月4日竹伐採、椎茸菌植え付け。3月ジャガイモ植え付け。
・ 行事での事故責任は一切負わない旨の文言を会報の最後欄外に入れる。

編集後記：※今回より下記のように行事中の事故についての当会の立場を明記することになりました。いずれの行事も楽しく無事に終わりますようによろしくお願いいたします。 ※「地域情報」への投稿（短報）もお願いします。

編集担当：勝田 均
Tel& Fax

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫